９０号Ａ保安器モジュール取扱説明書

CM82-1001(1/2)

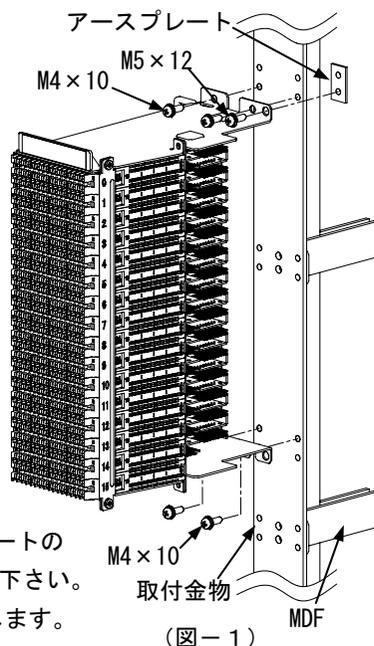
１．添付品（1 モジュール当たり）

品　　名	数量	用　途
なべ小ねじ M4×10mm（ばね座金、平座金付）	4 個	MDF 取付用
アースプレート	1 個	アース線用
なべ小ねじ M5×12mm（ばね座金、平座金付）	2 個	アース線用
示名条片台	1 個	表示用

２．モジュール及びアースプレートの取り付け方（図－１）

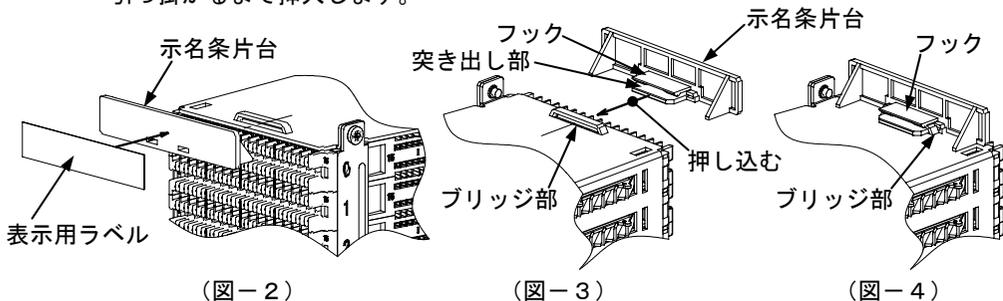
２．１．モジュール背面の取付穴から取付金物を介して MDF へねじ止めします。

２．２．アースプレートは、モジュール背面の取付穴からねじで仮止めして下さい。
MDF へ保安器モジュール取り付け後、アースプレートのねじを締め、モジュール相互間を確実に連結して下さい。

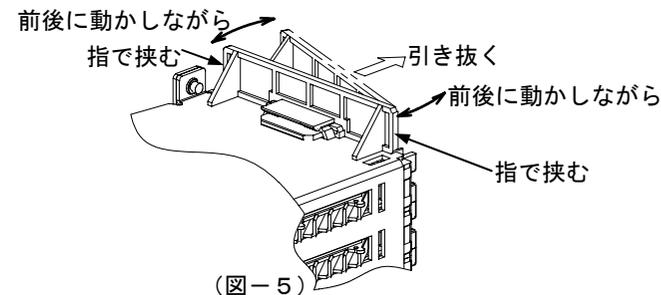
２．３．アース線の端子取付穴径は、M5 のねじ用が適合します。

（図－１）

３．示名条片の取り付けと取り外し及び使用方法

３．１．表示（図－２）
示名条片台の表面に表示用ラベル(Max:12×64mm)を貼り付けて使用します。
尚、表示用ラベルは、お客様の準備となります。

３．２．取付（図－３、図－４）
モジュールのブリッジ部に突き出し部を挿入し、フックがブリッジ部に引っ掛かるまで挿入します。

（図－２）　（図－３）　（図－４）

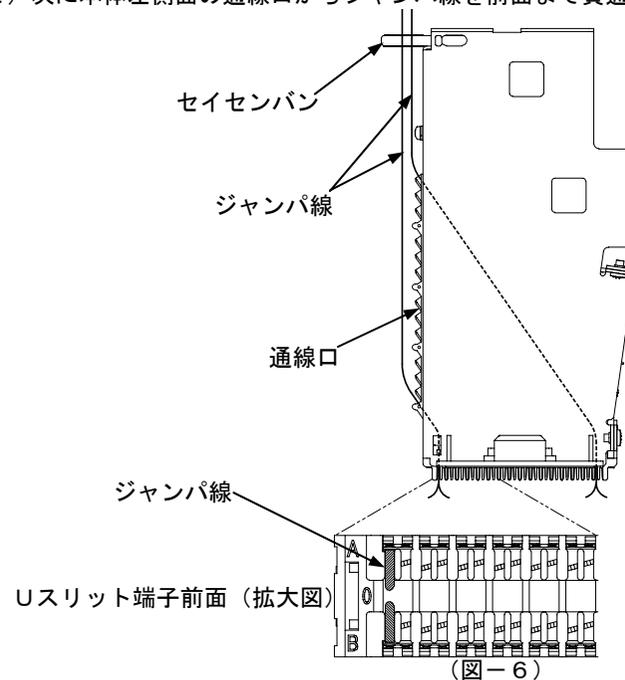
３．３．取り外し（図－５）
両側を指で挟み、前後に動かしながら引き抜いて外します。

＊注意：示名条片台の取り付け・取り外しの際は、破損の原因になりますので、必要以上に変形させないで下さい

（図－５）

４．ジャンパ線の配線方法

４．１．通線要領（図－６）

１）MDF で引き回されたジャンパ線は、配線する本体後部のセイセイバンに受けます。

２）次に本体左側面の通線口からジャンパ線を前面まで貫通します。

（図－６）

4．2．結線要領（図－７）

1）前面に貫通したジャンパ線は、90号Ａ工具の結線工具を使用して、Uスリット端子へ被覆ごと圧入接続できます。
この際、左側のＵスリットからジャンパ結線してください。

2）ジャンパ線は、Ｕスリット端子に接続され、ジャンパ線の余長は、接続と同時にカット処理されます。

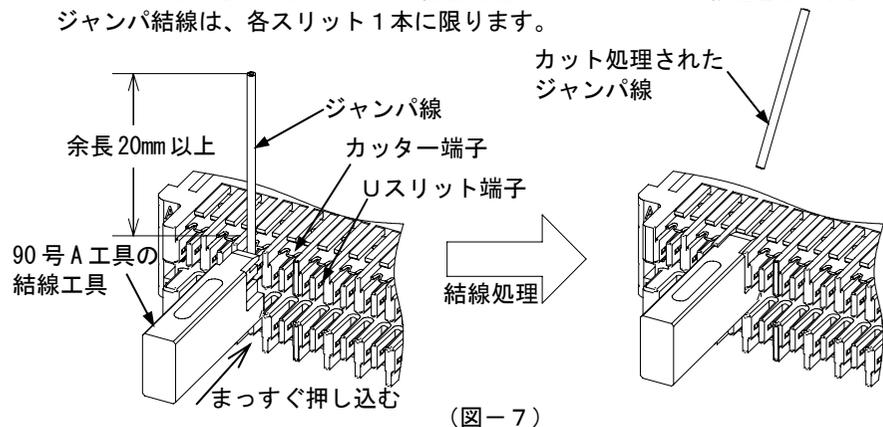
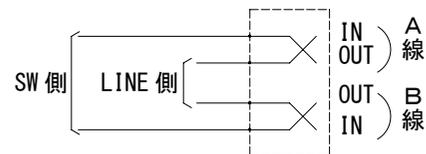
3）Uスリット端子は、１端子にマルチ接続可能なダブルスリット構造となっております。
ジャンパ結線は、各スリット１本に限ります。

（図－７）

＊注意１：Ａ線、Ｂ線では工具の向きが異なりますので、十分ご注意ください。
＊注意２：ジャンパ結線は**必ず左側**から行ってください。
右側からジャンパ結線すると、ジャンパ線の結線および引き抜きができない場合があります。
＊注意３：接続作業を確実に行うために、必ず**20mm以上の余長**を確保してください。
＊注意４：結線工具はまっすぐ押し込んでください。斜めに押し込むと結線不良、破損の原因になります。
＊注意５：１つのスリットに２本付けしないでください。
＊注意６：線なし状態での結線工具の使用（空打ち）はしないでください。

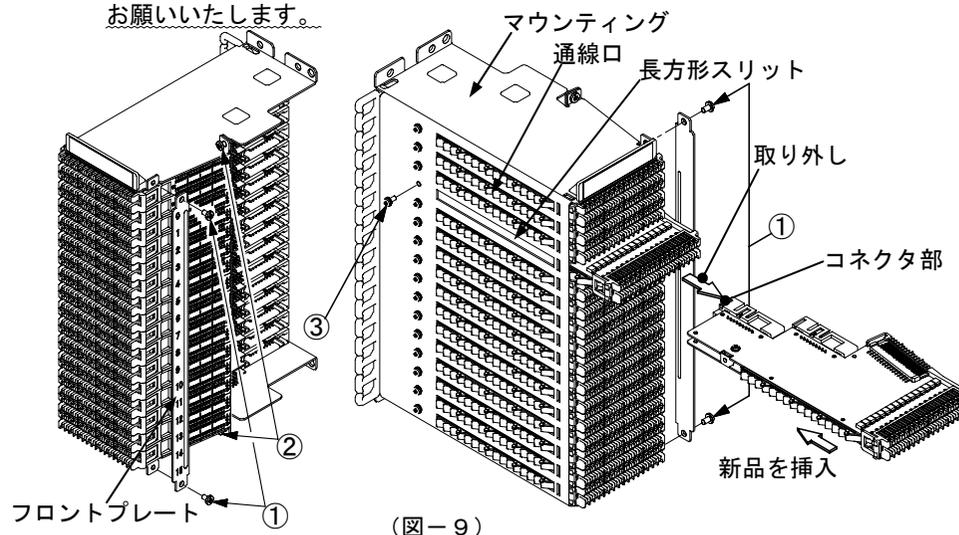
4．3．取り外し要領（図－８）

90号Ａ工具の外し工具の先端を接続したジャンパ線に引っ掛け、まっすぐ引き抜いてください。

（図－８）

5．試験弾器（ＴＳ）の回路図

6．サブモジュールの取り替え要領（図－９）

1）①のねじを外し、フロントプレートを取り外します。
2）②のねじをゆるめ、取り付け面よりねじの首下が２mm程浮くまで緩めてください。
3）取り替えるサブモジュールの③のねじを外します。
4）サブモジュールの図中のコネクタ部を押しながら手前に抜き、取り外します。
5）新品サブモジュールを挿入してください。
　イ．挿入は、マウンティング（金属取付枠）左側面の長方形スリットの同一面まで押し込んでください。
　ロ．また、同一面まで入りにくい場合には、上下のサブモジュールを押し広げて挿入してください。
6）取り外した①のねじでフロントプレートを取り付けます。
7）②のねじを締め付けてください。
8）取り外した③ねじを締め付けます。

＊注意：取り替えるサブモジュールは、作業前に既に付線されている回線の適切な処理をお願いいたします。

（図－９）

【お問い合わせ先】　東京通信機工業株式会社
営　業　課：〒108-0074　東京都港区高輪3-8-13
電話：03-3447-2421
大阪営業所：〒532-0011　大阪市淀川区西中島3-7-8　新大阪ｻｸｾｽﾋﾞﾙ602
電話：06-4805-6580